

# 教育方針

## I 学校経営方針と重点目標

校訓：創造・誠実・剛健 教育目標：豊かな心とたくましい体をもつ生徒の育成

### 生徒像

- ・創意・工夫の精神と自己の言動に責任をもつ生徒
- ・立場を理解し、真心をもって互いに助け合い向上する生徒
- ・粘り強く挑戦し続ける意志と実行力をもつ生徒

### 教師像

- ・「楽しく・わかり・できる」授業への授業改善を実践する教師
- ・生徒とともに学び、向上する教師
- ・信頼される魅力ある教師

### 学校像

- よりよい相互関係【喜び・温もり・信頼】に立つ学校
- ・「学ぶ喜び」のある学校
  - ・「暖かい温もり」のある学校
  - ・「確かな信頼」がある学校

### — 本年度の重点・努力事項 —

自分づくり・なかまづくりを通じた自己肯定感の育成に向け、肯定的な生徒理解と温かい人間関係の醸成に努めるとともに、確かな学力の育成を目指す高い意識を全教職員が連携・協働し、チームとして教育活動を実践する。

<モットー（合言葉）> ☆誰一人取り残さず、一人一人が輝く教育

☆勝賀中で学び（働き）、勝賀中で過ごして良かったと思える教育

### <本年度の重点>

#### (1) 生徒指導の充実

肯定的な生徒理解とていねいな関わりを発展させ、生徒自ら考え、判断し、行動できる主体的な態度の育成を目指し、関係者や関係機関が連携して情報共有、組織的な生徒の支援を目指す。

特に、いじめ・暴力行為等の問題行動や不登校の未然防止と早期解決、教育相談の充実、生徒や保護者等とのよりよい関係性の構築に努める。

#### (2) 確かな学力の育成

授業規律の確保、「楽しく・わかり・できる」授業への改善による学びの質の向上と主体的な学びへの支援体制や支援方策の実践に努める。（誰一人取り残さない）

#### (3) 豊かな心を育てる教育の推進

学校や地域を愛し、夢に向かって粘り強く挑戦し続ける意志と、言葉を大切にしながら何事にも誠実に取り組む中で、自己肯定感・自己有用感・自尊感情を育み、自他を尊重して関わり合う力の育成を図る。

#### (4) 個と集団を意識した指導の充実

一人一人が自分を表現する場を設定することで自己存在感を高め、互いに認め合い、高めあう支持的雰囲気のある集団づくり。（学年・学級・部活動等の集団における指導の充実）

#### (5) 家庭・地域・関係機関との連携の推進

各種たよりやホームページ等による積極的な情報発信を行い、信頼関係を築き、指導の効果を高めるとともに、学校運営協議会(コミュニティスクール)を核として開かれた学校づくりに努める。

#### (6) 連携・協働と業務改善を意識した教職員個々&チーム学校としてのレベルの向上

自己の職に責任と使命感、誇りをもち、自己研修に励み、生徒の成長とともにお互いの成長を喜びあえる教職員集団を目指す。また、教職員一人一人が自らの業務について、より能率的で効果的なものとなるよう見直ししながら、組織全体としての業務改善を推進する。

## Ⅱ 重点努力事項の具体（指導方針等）

### （1）生徒指導の充実

いじめ・暴力行為等の問題行動の未然防止や早期解決に向けて、保護者や地域・関係機関の協力を得ながら、学校生活のさまざまな場面で取り組んでいく。

#### ① 組織的な指導体制・教育相談体制の充実

- ・生徒指導主事を中心とし、保護者や関係機関との連携を重視した組織的な対応
- ・教育相談体制の充実と不登校生徒への早期かつ粘り強い対応（関わりきる）
- ・スマホ（携帯）、SNS等の利用にかかる指導

#### ② あいさつの励行と言葉を大切にさせる指導、マナー指導

#### ③ 校内美化の徹底

- ・クリーンデーの実施、ボランティア清掃・美化活動、日常の清掃活動の充実

#### ④ 部活動方針に基づいた健全な心身の育成を目指した部活動指導

#### ⑤ 生徒会活動の充実

- ・生徒による自主的・主体的な活動の奨励、委員会活動の充実
- ・生徒会・児童会を通じた小中連携活動の充実

#### ⑥ 安全教育の推進

- ・交通ルールやマナー・自然災害・不審者等からの被害防止にかかわる指導の徹底

### （2）確かな学力の育成

学習状況調査や生徒の授業評価等で現状を把握し、課題の解決を図る。また、学習意欲や家庭学習に課題のある生徒に対して、粘り強く取り組む態度の育成や、家庭学習習慣の確立を図る。

#### ① 学習習慣の確立

- ・定期テスト等の機会を通して、日々の学習の振り返りと学習計画の立案を行い、見通しを持って家庭学習に取り組む力を育成する。

#### ② 指導方法の改善

- ・ICT機器の積極的で効果的な活用を含めた、教科指導（「楽しく・わかり・できる」授業への改善に向けた）の継続的な研究を推進する。（令和4年度～ 情報活用能力の育成モデル校）

#### ③ 各種調査の分析

- ・全国学力学習状況調査、県学習状況調査による課題分析と対応策の検討

### （3）豊かな心を育てる教育の推進

公共の精神、自他を尊重して関わり合う力の育成を図るために、道徳教育の充実を中心とした取り組みを保護者や地域と連携しながら行う。

#### ① 「特別の教科道徳」の授業の充実

- ・自己肯定感や自尊感情の育成を中心とした「特別の教科道徳」の授業実践を意識しつつ、公共の精神、自他の尊重、関わり合う力等を育成するために、指導案や教材を共有しながら進めていく。

#### ② 人権・同和教育の推進

- ・部落差別など社会にある様々な差別から学び、差別をしない、差別を許さない態度の育成
- ・令和8年度香川県人権・同和教育研究大会に向けての研究の推進

#### ③ 特別支援教育の充実

- ・通常学級も含め、多様な気質をもつ生徒が、学習活動に参加している実感・達成感を持ち充実した時間を過ごし、生きる力を身に付けることができる学習環境の整備と研修の充実

#### ④ 進路指導の充実

- ・キャリア教育と確かな進路指導にもとづいた進路保障

#### ⑤ 保護者や地域と連携したあいさつ運動・掃除教育

- ・クリーンデー、スマイルあいさつ運動の推進

#### ⑥ 朝の読書活動の効果的な運営

- ・図書館教育との連動

#### ⑦ 生徒主体の体験活動の充実

- ・総合的な学習や学校行事、学年団行事、生徒会活動を中心とした学校や地域を愛する心を育てる体験活動の充実（地域に出向き、地域のよさや課題を知る）

#### (4) 個と集団を意識した指導の充実

一人一人が自分を表現する場を設定することで自己存在感を高める。また、互いに認め合い、高めあうことのできる支持的雰囲気のある集団づくりに努める。

##### ① 一人一人に目を向けた学級経営

- ・一人一人を大切に作る集団づくりの実践

##### ② ソーシャルスキルトレーニング等の活用

- ・計画的な実践と効果の検証

##### ③ 障がいのある生徒に対する適切な教育的支援

- ・個別の指導・支援計画の作成とそれに従った指導

#### (5) 家庭・地域・関係機関との連携の推進

すべての教育活動において、家庭・地域との連携を深めるために、積極的に情報を発信・受信し、学校経営に生かす。また、関係機関との連携を密に行うことで、指導の効果を高める。

##### ① 授業や行事の積極的な公開

- ・PTA活動と連動した企画運営

##### ② 小中連携の充実

- ・学習指導、自主活動面での連携

##### ③ 関係機関との積極的な情報交換

- ・生徒指導面での連携強化

##### ④ 地域と連携した活動の推進・継続・発展

- ・学校運営協議会(コミュニティスクール)における情報共有と、地域人材の活用や地域行事との連携の積極的な推進

##### ⑤ 各種たよりやホームページ等の計画的な運営

- ・組織的計画的な運営、各種たよりやメール等による日常的な情報発信

#### (6) 連携・協働を意識した教職員個々&チーム学校としてのレベルの向上

##### ① 研修の充実

- ・生徒の学習意欲を引き出し、「楽しかった」「わかった」「できた」という達成感を感じさせることで、自己肯定感を育てていく。そのための手立てとして、授業の中に次の2点を取り入れ、授業改善を進める。

- 情報活用能力の育成を重視した授業設計

- ICT 機器の積極的な活用による学習指導の改善と充実

- ・指導方法（学習指導・生徒指導・学級経営等）の継承のための若年研修の充実

- ・令和5年度香中研高松支部（北ブロック）研究大会に向けての研究の推進

##### ② 業務改善・働き方改革に対する意識改革（量は減らしても質は落とさない）

- ・業務改善や出退勤管理システムによる勤務時間に関する意識改革と時間外勤務の抑制

##### ③ 校内ネットワークやTensクラウドの有効な活用